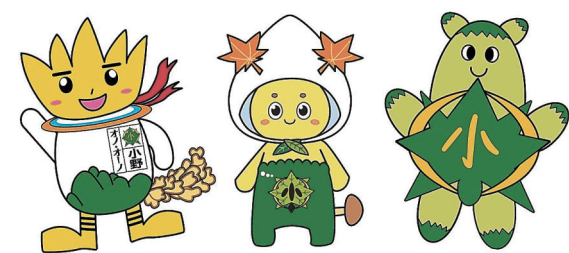


## 小野小



これがイチオシ

## 町のキャラ 学校を応援

小野小のキャラクターは「オノ・オノ」「おのまる」「七ツもみ」です。それぞれが七ツ森やミズバショウ、もみじ、舞茸など大和町の自然や特産品をもとにデザインされ、大和町の良さが一目で伝わってきます。

名札を付けたオノ・オノは、全校で取り組む「名札パーフェクト三日間」を応援してくれています。キャラクターたちは、学校の目標「明るく・賢く・強く」と一緒に、どのクラスにも掲示され、私たちを見守っています。かわいらしくて、みんな大好きです。

学校名 大和町立小野小学校  
所在地 大和町もみじヶ丘2の3  
創立 1991年  
電話 022(358)9221  
校長 林 宏也  
児童数 580人

## 良いところ メッセージに

小野小の児童会目標は「支え合う」「いじめなし」「友達を大切に」の三つです。全校でこの目標を達成するために、計画委員会が中心となって「もみじプロジェクト」に取り組んでいます。他の学年のよいところや優しくしてもらってうれしかったことなどをカードに書き、学年を越えてメッセージを送り合う活動です。

全校に呼びかけたところ、「休み時間に○年生のお兄さんが一緒に遊んでくれました」「○年生さんが毎日階段掃除を丁寧にしていたです。



編集委員 佐藤美晴、須田駿太、垣下奏太、藤岡心奏、盛倫太郎、由中結希乃、堤菜々香、森屋碧意、瀧村美松、千葉菜々花（6年）  
指導教員 鈴木みゆき

## 全校でカード送り合う

## わが校わがまち スクール通信



今回は  
成田東小（富谷市）  
角田小（角田市）

## 遊び場と給食をキャラに

## 地域住民とフェスタも

台原小の特色を紹介します。一つ目は、「おかっぴ」と「モーリー」というキャラクターがいることです。おかっぴは、校庭の滑り台のある丘や学校のまわりの丘がモチーフです。主に学校の行事やイベントで登場します。モーリーは給食のマスコットキャラクターです。季節によって衣装が変わるのが面白いです。

二つ目は、地域の方々の関わりが多いことです。1年生の手伝いをしてくれるエプロン先生や、登下校を見守ってくれるエプロン先生など、地域の方々の交流を大切にしています。



おかっぴとモーリー

編集委員 相澤柳太、泉洗希、一戸爽生、小野口凜、春日寧々、草木陽稀、徳田こう（6年）指導教員 青木茜

## 台原小



これがイチオシ

## 校舎内外に楽しい場所

台原小の校庭には、私たちのシンボルの遊具「ジャンボ滑り台」があります。長さは約15mで、休み時間には多くの児童が遊んでいます。

校内には、ワークスペースという空間が各学年にあります。教室と廊下をつなぐ場所で、使い方は学年によってさまざまです。6年生はベンチを置いて、クラス関係なくカードゲームをしたり、話し合いで使ったりしています。楽しい場所がたくさんある校舎や校庭をこれからも大切にしていきたいと思っています。

校名 仙台市立台原小学校  
所在地 仙台市青葉区台原5の16の1  
創立 1959年  
電話 022(234)1361  
校長 見田 佳代  
児童数 564人

富谷市成田東小（児童226人）で2日、河北新報社が県内の小中学生向けに作ったデジタル教材「ミヤシル」を使った授業があった。外資系コンサルティングのアクセンチュアと河北新報社が共同で授業のメニューを考案した。

市内の蜂蜜作りをテーマとし、3年生30人を対象に2校時に実施した。児童たちはミヤシルのコンテンツのうち、同市の蜂蜜を取り上げた読み仮名付きの記事「おすすめニュース」を読んだ。問答形式で記事の内容を読み解く「かほピョンウィーク」にも取り組み、理解を深めた。

担当の市職員による講話では、ミツバチの生態や市役所屋上の養蜂「とみややちみつプロジェクト」の概要を紹介した。

（2月3日朝刊より）

## デジタル教材で地域探究

富谷・成田東小 市の蜂蜜作り学ぶ



アクセンチュアの担当者（左）の説明を聞き、ミヤシルの記事を読む児童たち



「スチューデントシティ」は、仙台市内の小学5、6年生が仕事をして給料をもらい、買い物や納税をする「小さな街」です。河北新報社は、紙面編集などの仕事を体験する支局を開設しています。

台原小5年

(2月3日)

長町小5年

(2月4日)



## 河北新報の仕事 がんばった 仙台市スチューデントシティ支局員紹介



荒巻小6年、館小6年 (1月28日)



芦口小6年、根白石小6年、福岡小6年 (1月29日)